

TEPCO LOGISTICS

TEPCO LOGISTICS



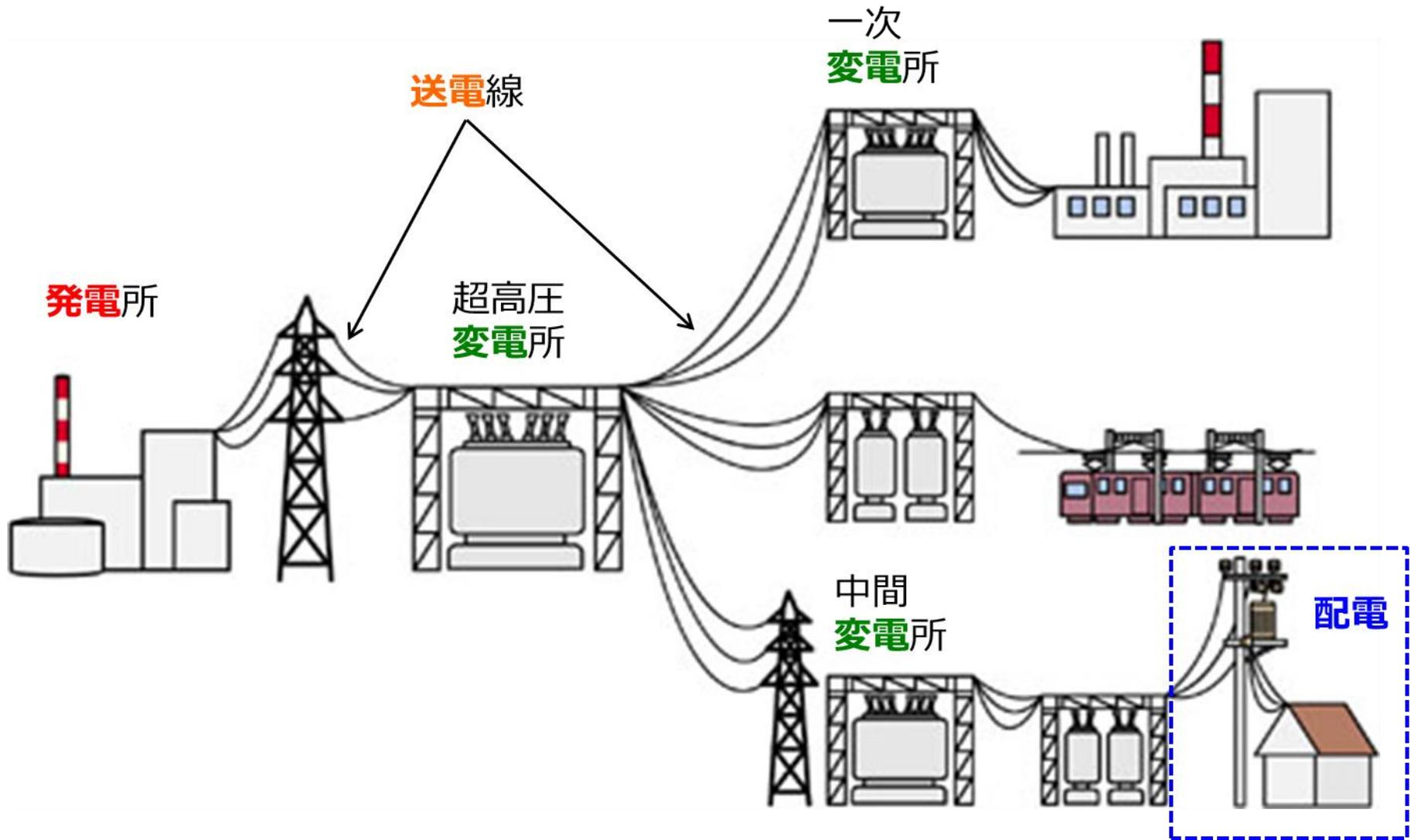
東電物流株式会社

経営概要

会社概要 (その1)

社名	東電物流株式会社 TEPCO LOGISTICS CO.,LTD
設立	1977年(昭和52年)7月1日
資本金	5千万円 (東京電力 P G : 80%, 日本コンクリート工業 : 20%)
代表者	代表取締役社長 朝岡 正裕
従業員	488名 (2017年6月現在)

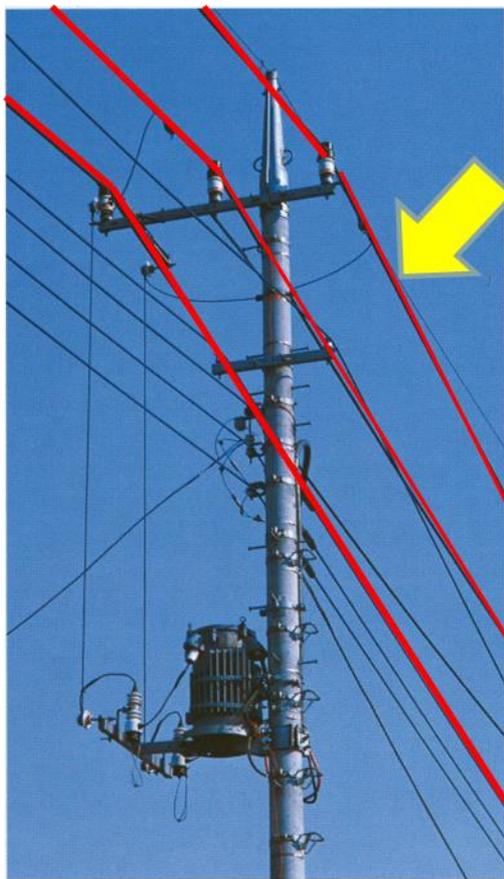
会社概要 (その2)



会社概要（その2）

- 電線

お客様に電気をお届けする、重要な「通り道」です。通る電気の電流の大きさによって、電線の太さが変わります。

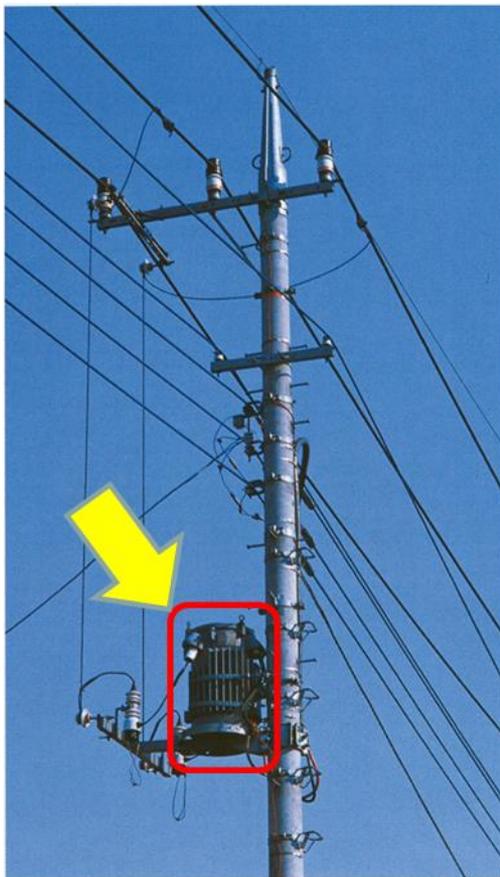


会社概要（その2）

- 変圧器

ご家庭などで使いやすい電圧に変える装置です。

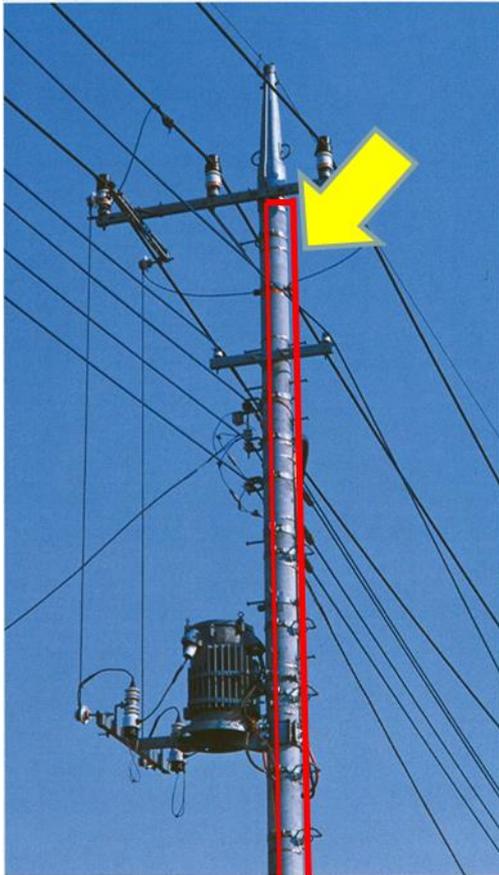
街中でよくみるのは、電柱の上にある「柱上変圧器」です。



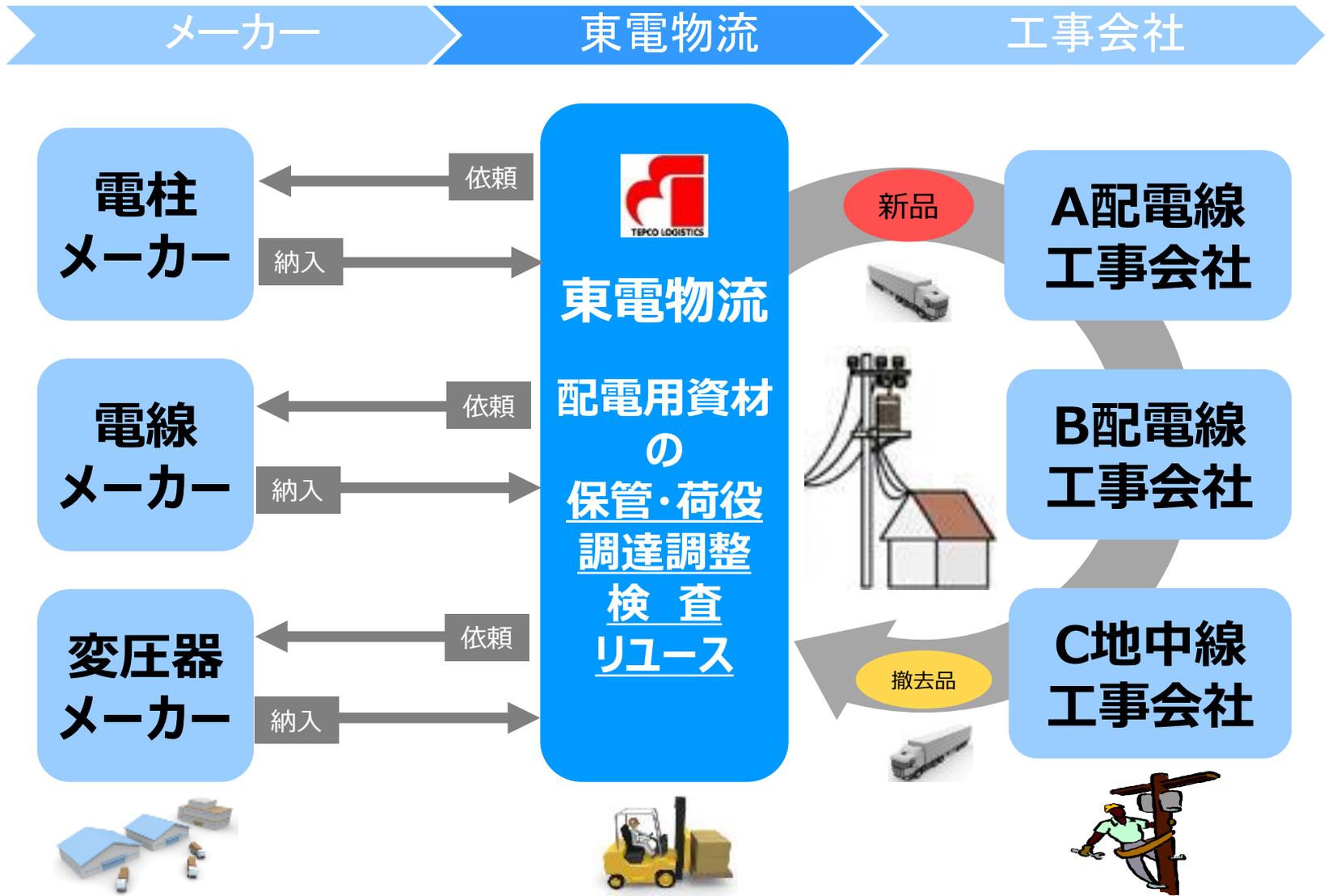
会社概要（その2）

- 電柱

電線や柱上変圧器など、電気の通り道に必要なものを支えています。



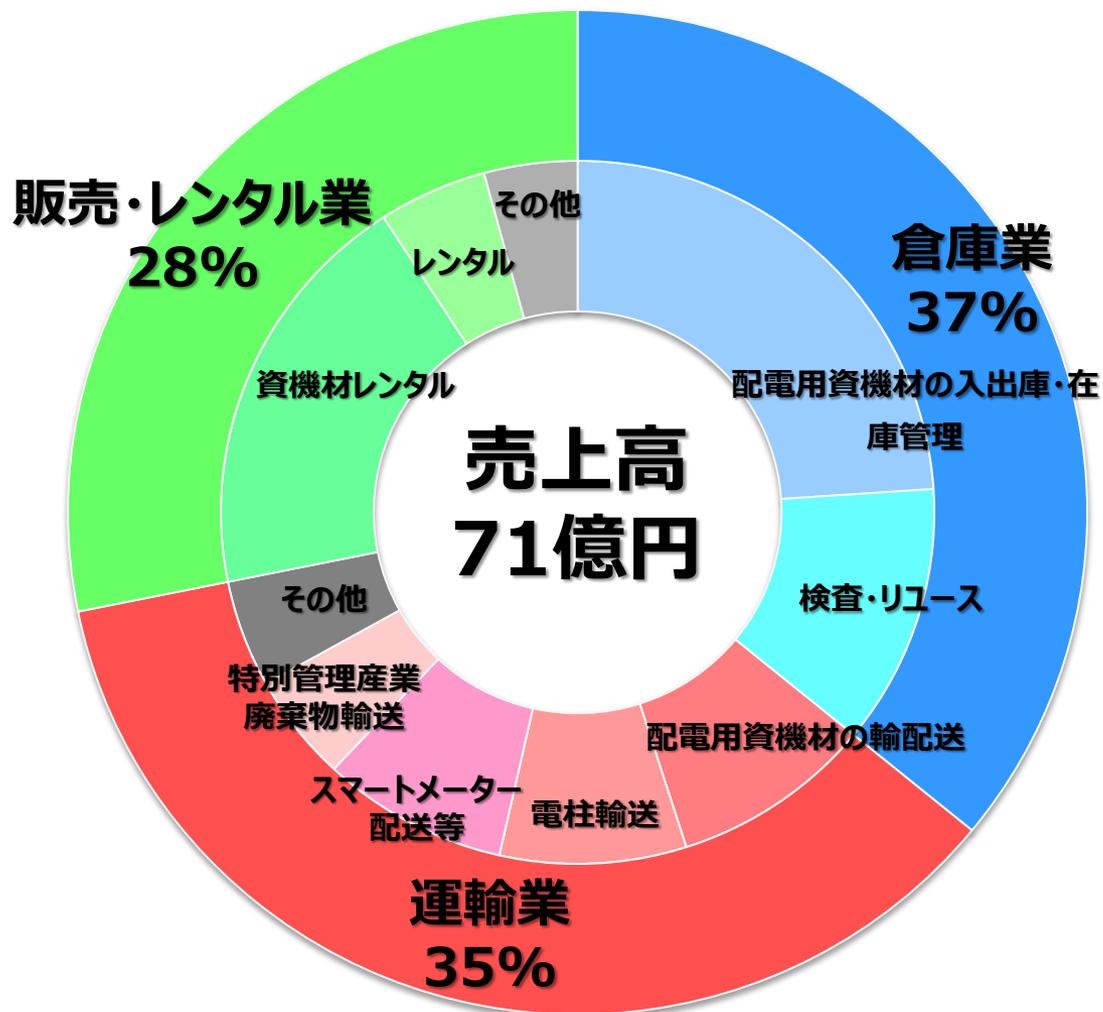
会社概要 (その2)



会社概要（その3）

事業区分	主な事業内容
運輸業	電柱輸送
	配電用資機材の輸配送
	スマートメーター配送, 特別管理産業廃棄物輸送
倉庫業	配電用資機材倉庫の入出庫・在庫管理
	配電用資機材の購入計画作成・メーカーとの調達調整
	撤去された配電用資機材の検査, リユース（再塗装）
販売・レンタル業	配電工事会社への配電工事材料等の販売
	電線メーカーへの電線用プラスチックドラム等のレンタル
	配電工事会社への無停電工事機材等のレンタル

会社概要（その4）



歴史・沿革

歴史・沿革（その1）

➤ 創業期 1977年～1991年（昭和52年～平成3年）

1977年 7月 東京電材輸送株式会社 設立（電柱「輸送」からスタート）

1977年10月 東京電力の配電用資機材の「輸配送」を開始

1979年10月 東京電力資材センター業務の一部を受託



➤ 第一次変革期 1992年～2002年（平成4年～14年）

1992年 6月 「倉庫」業許可取得

1995年 1月 阪神・淡路大震災発生，大型トラック21台，33名が対応。
簡易トイレ・飲料水・食料品などを輸送

1999年 7月 東京電力より資材「倉庫」管理業務を全面受託
東電物流株式会社に社名変更

2000年10月 通関業許可を取得

2002年 4月 プラスチックドラムレンタル事業開始



➤ 第二次変革期 2003年～2010年（平成15年～22年）

2003年 3月 特別管理産業廃棄物収集運搬業許可を取得

2004年10月 中央支社を建設し営業開始

2005年 7月 東京電力より配電用資機材「調達」業務を受託

2006年 4月 地中線工事材料の輸送開始

2007年 7月 新潟県中越沖地震発生，柏崎刈羽原子力発電所へ車両のべ
8台で，簡易トイレ・飲料水・食料品などを輸送

2010年 8月 新型梱包材レンタル事業開始



歴史・沿革（その2）

➤ 新たな事業展開 2011年～（平成23年～）

2011年3月11日 東日本大震災発生，非常態勢発令・対策本部設置し放射線警戒区域へ復旧作業材料・保安資機材・厚生物資などを輸送

2011年 3月 配電工事材料一部商品の販売開始

2011年 6月 空調服「販売」開始

2011年 7月 福島安定化流通センターを設置

2014年 4月 金物碍子類簡易塗装ブース稼働開始

2014年 6月 スマートメーター輸送業務開始

2015年 8月 海外メーカー（台湾）「代理店」契約締結

2015年10月 非常用燃料油の輸送・寄託業務受注

2016年 4月 熊本地震発生，電源車等への燃料油供給対応

2016年 7月 福島安定化流通センターを福島支社に変更

2016年 7月 無停電機材の「レンタル」業務開始

2018年予定 配電工事材料商品の取扱品種拡大

2018年予定 福島廃炉工事に向けた配電工事材料の輸送・販売



主要お取引先

主要お取引先

TEPCO



関電工

YAZAKI

FURUKAWA
ELECTRIC GROUP

東北電力グループ
北日本電線株式会社

イワヅチ株式会社

NASU
那須電機鉄工
<http://www.nasudenki.co.jp>

得恩機電工業股份有限公司
DER-EN ELEC.IND.CO.,LTD

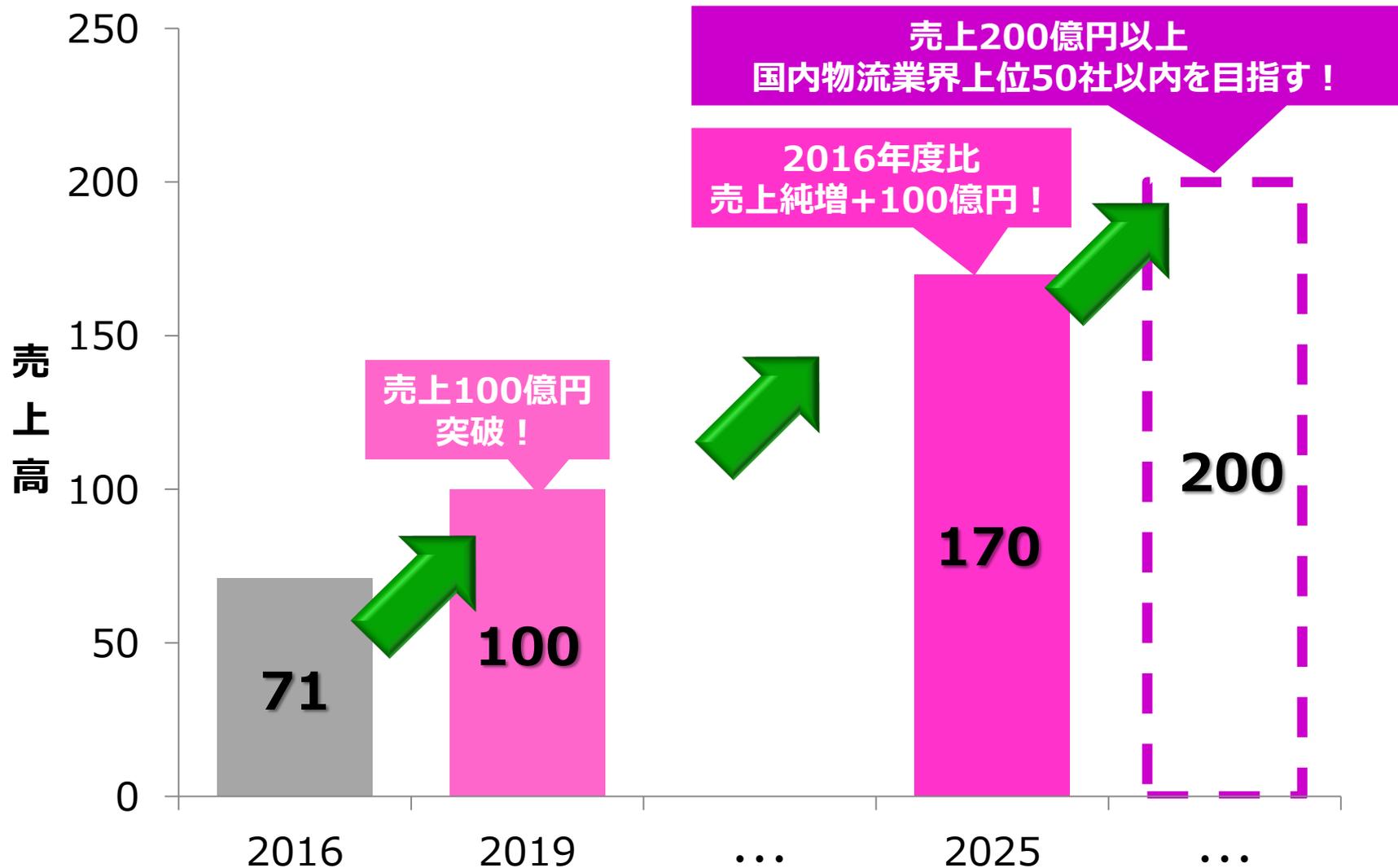
八洲運輸株式会社
YASIMA LOGISTICS
企業価値向上をサポートします。八洲運輸の物流ソリューション

etc...

経営目標

経営目標（その1）

単位：億円



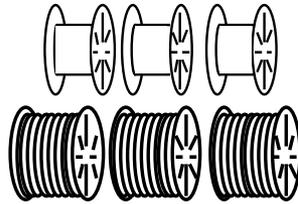
経営目標 (その2)

単位：億円

売上拡大



プラスチックドラム



空調服

+100億円

+30億円

売上
71億円 2016

2019

2025

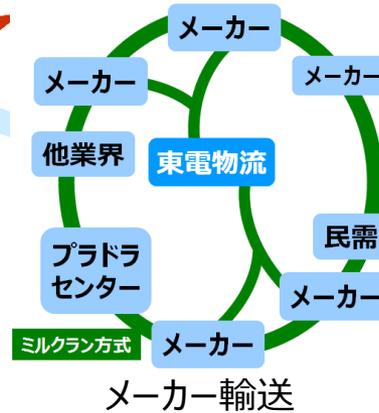
売上
170億円

5億円

10億円



無停電機材レンタル



メーカー輸送

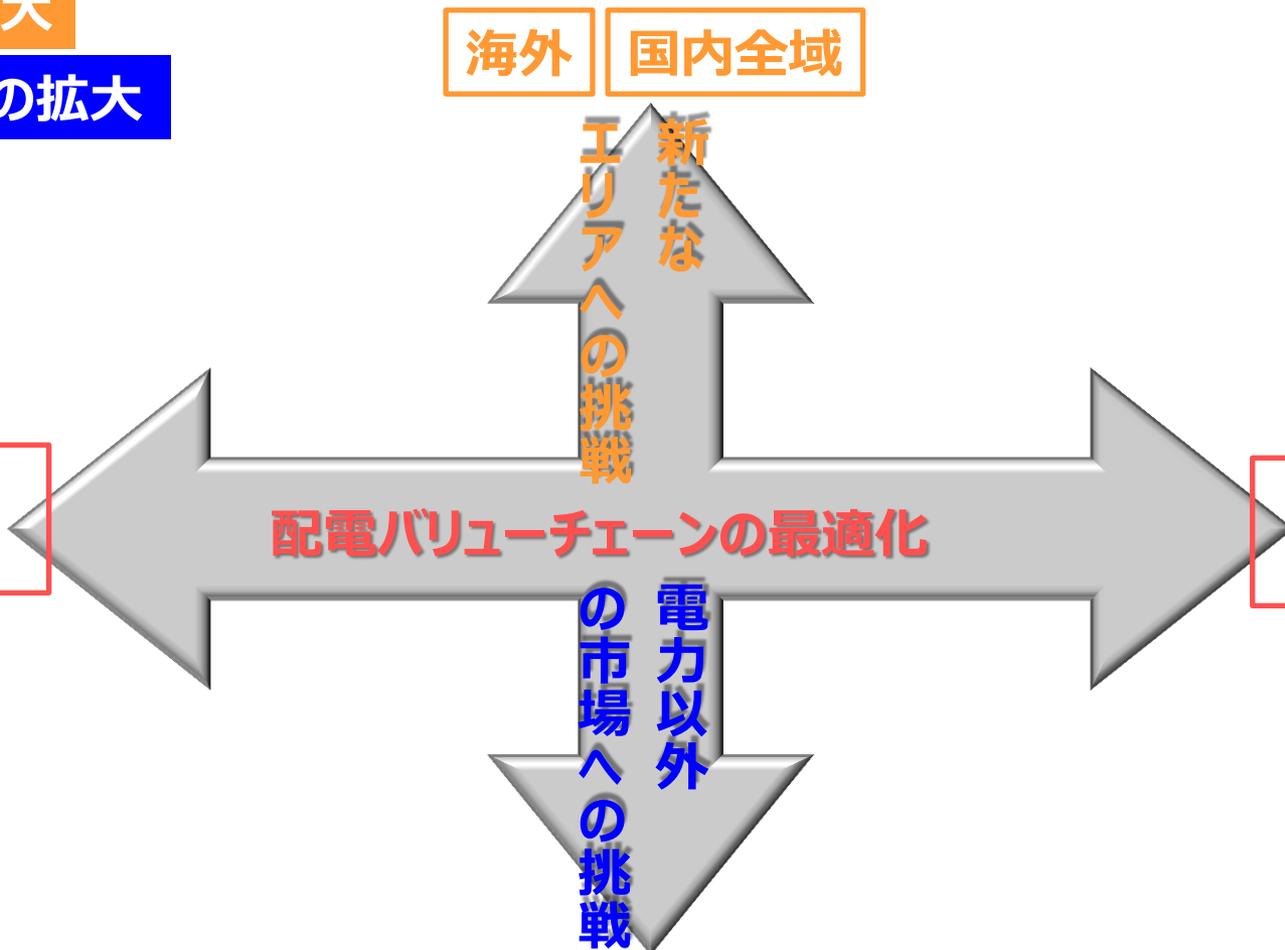
中長期戦略

バリューチェーンのより上流・下流への進出

エリアの拡大

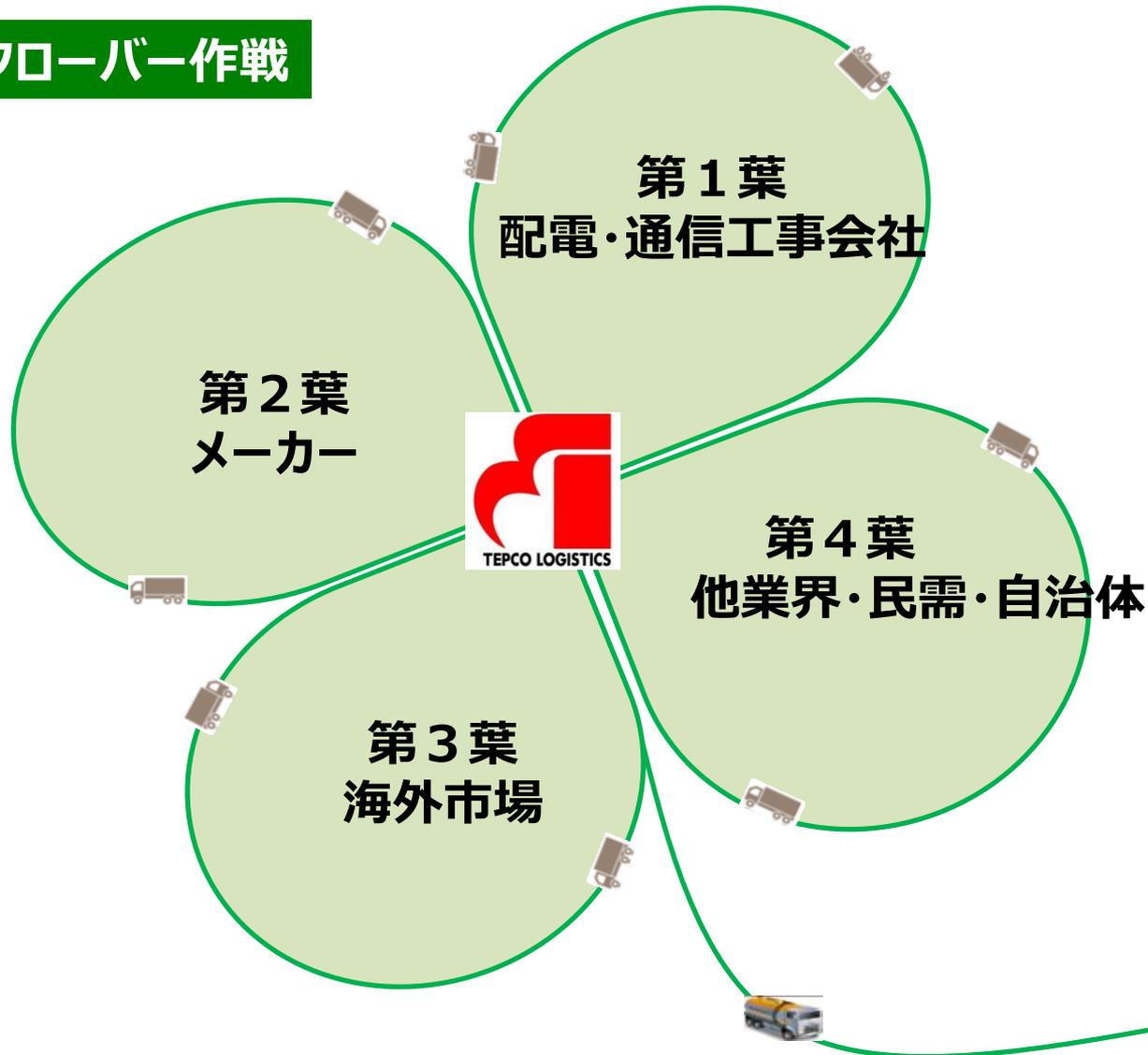
取引相手の拡大

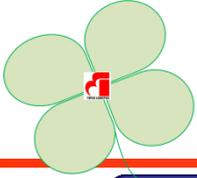
上流
(メーカー)



中長期戦略における事業フィールド

四つ葉のクローバー作戦





作戦の事業戦略

当社の強み

事業戦略

事業フィールド

輸送

関東一円に配送網確立
配電用資機材輸送のエキスパート
PCB機器の輸送

- ・輸送エリアの拡大
- ・協力輸送会社との提携強化・拡大

第2葉 メーカー

倉庫管理

関東一円に配電用資材倉庫を運営
配電用資機材調達・管理のエキスパート
PCB機器の管理

- ・他業界の物流業務運営への売込
- ・自社倉庫の増設，福島支社活用
- ・WMS（在庫管理システム）等の導入

第1葉 配電・通信工事会社
第2葉 メーカー
第4葉 他業界

リユース

ノウハウ・設備・人材を保有

- ・リユース事業エリアの拡大
- ・塗装技能の多能化・多様化

第4葉 他業界・民需

販売・レンタル

商社機能

- ・配電用資機材の販売・レンタル拡大
- ・海外メーカーの販売代理業務の拡大
- ・新規参入メーカーへのコンサル

第2葉 メーカー
第3葉 海外
第4葉 他業界

災害対応

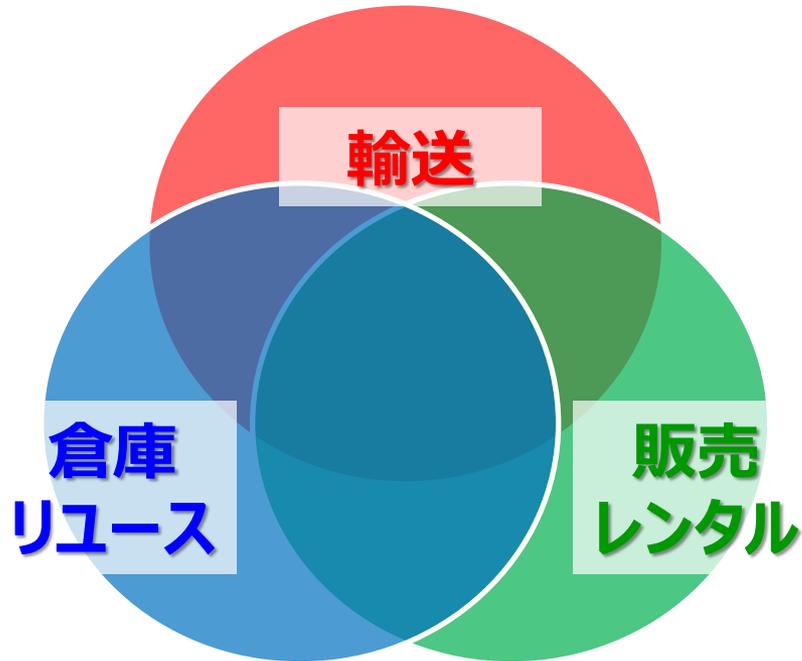
災害時に対応できる人材・
車両を保有

- ・非常用電源設備の保管，輸送
- ・非常災害訓練の強化

第4葉 民需・自治体

今後の事業展開

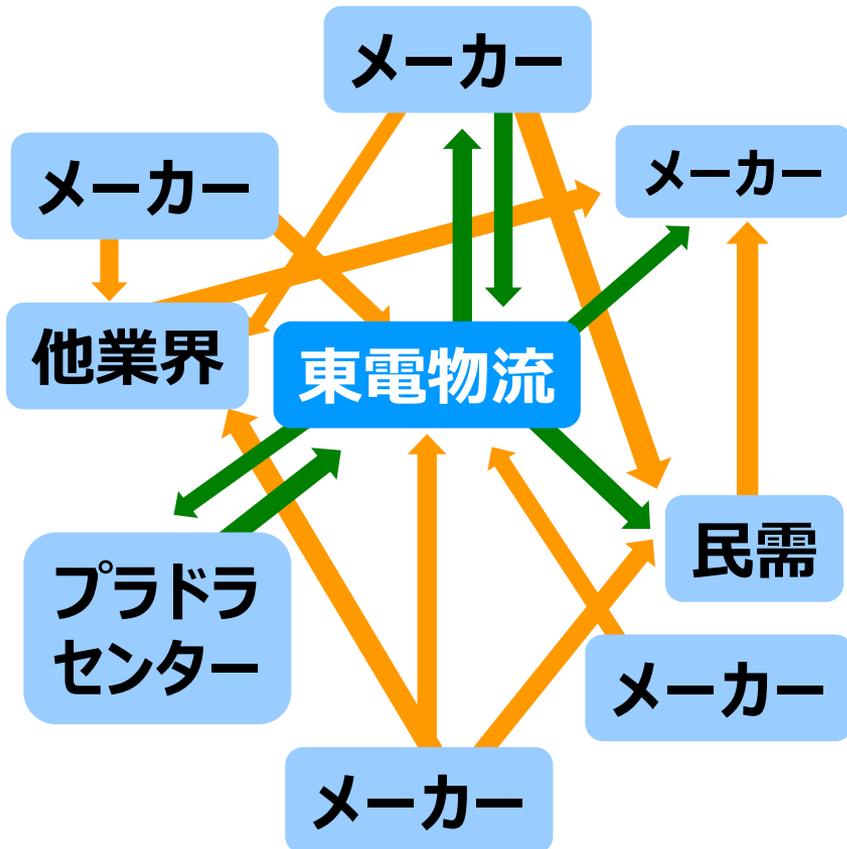
全体像



- グループ全体コストダウンへの貢献
- 福島への責任 … 売上拡大
… 福島廃炉事業

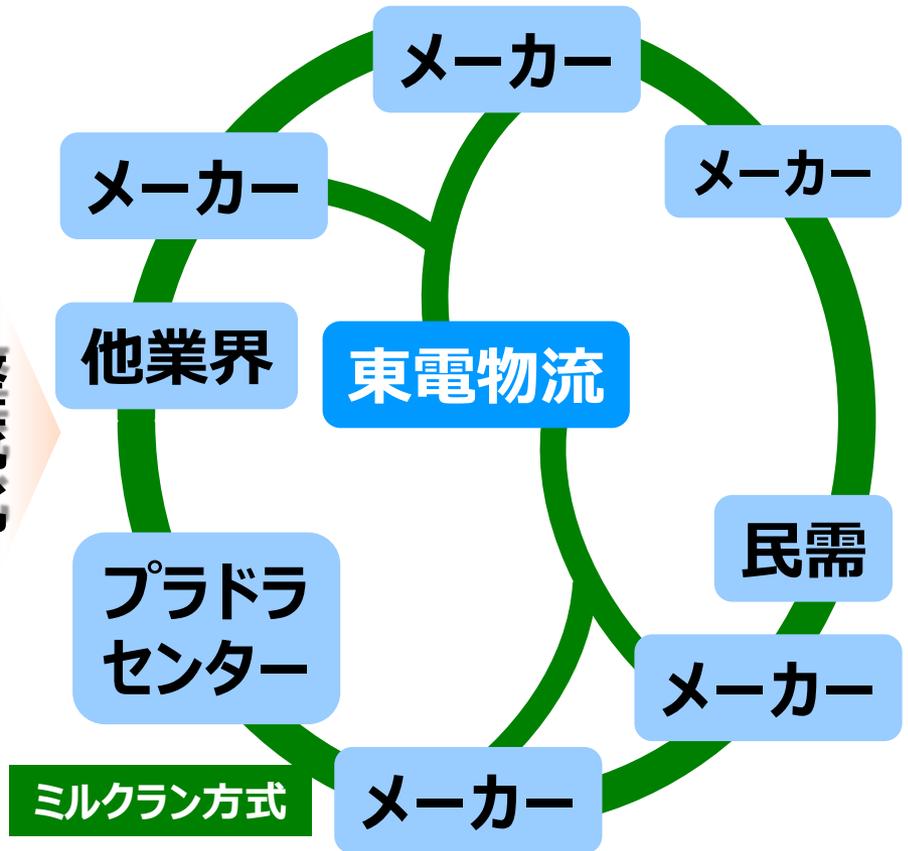
事例①メーカー製品輸送

Before



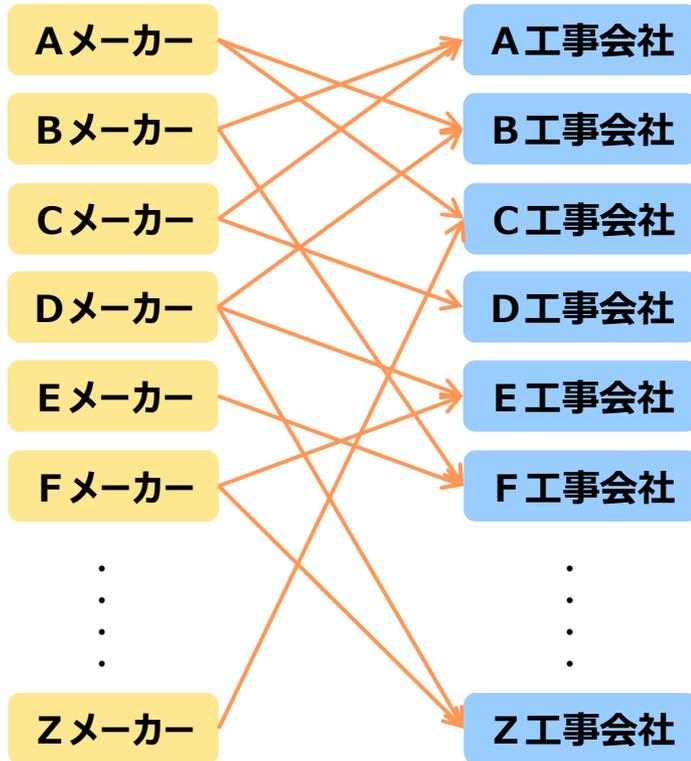
整流化

After



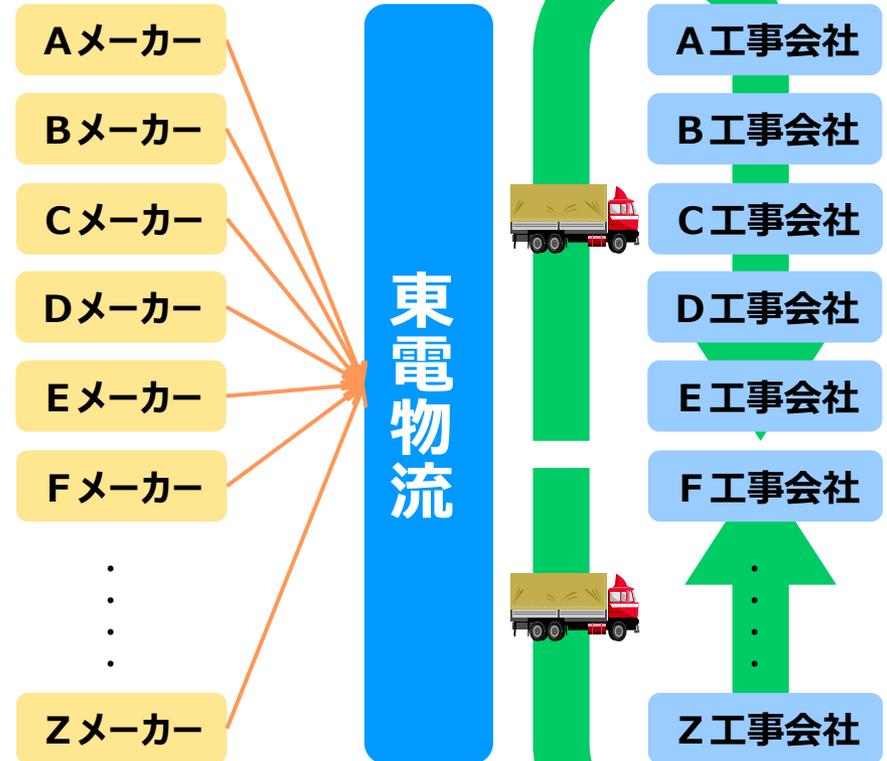
事例②配電工事材料購入・販売拡大

Before



納入拠点集約

After



輸送最適化
バーゲニングパワー

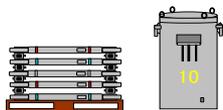
当社の既存輸送便への積合せ配送を強みに販売拡大！

事例③無停電工事機材レンタル

Before

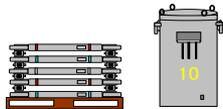
A 工事会社

所有



B 工事会社

所有



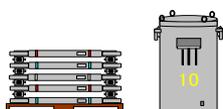
C 工事会社

所有



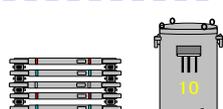
⋮

所有



K 工事会社

所有



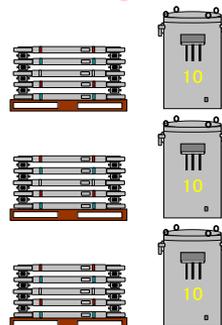
After

所有・管理の
集中化により、
保有必要数減少

買取
一括管理

東電物流

所有



レンタル
レンタル
レンタル
レンタル
レンタル

A 工事会社

B 工事会社

C 工事会社

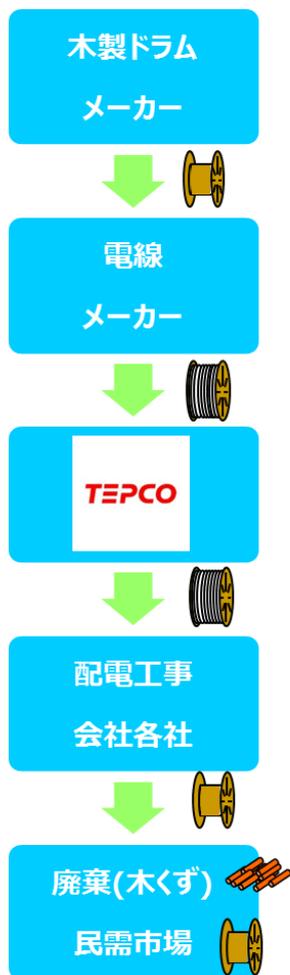
⋮

K 工事会社

シェアリングエコノミー

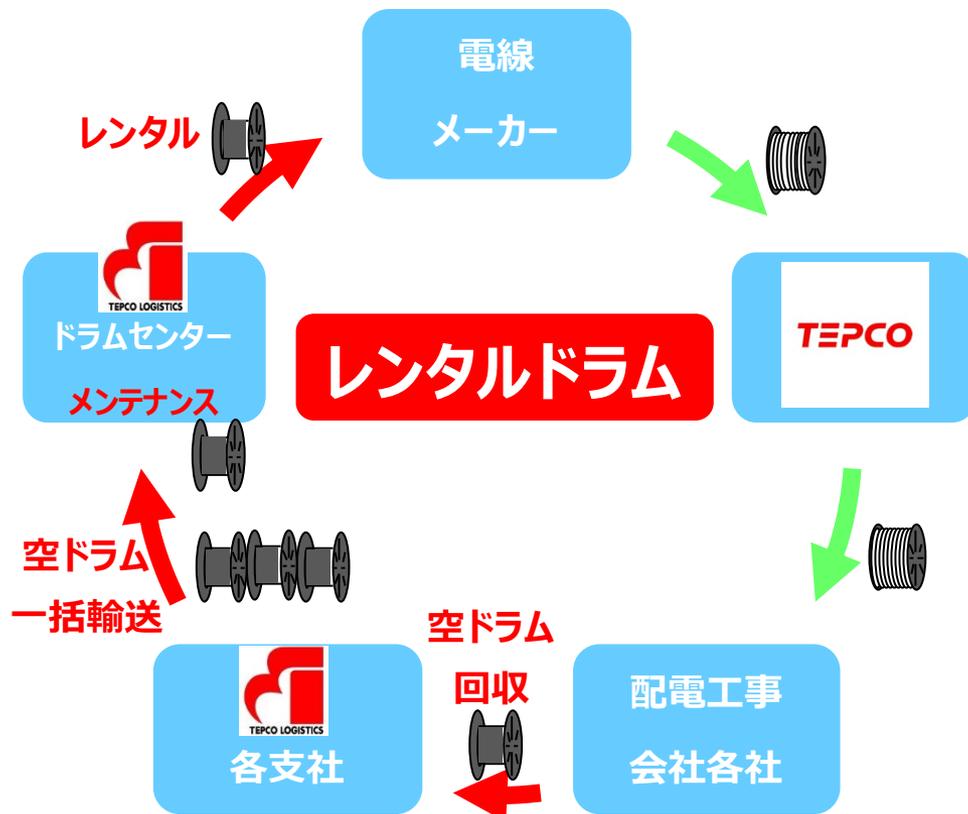
事例④電線用ドラムのレンタル

Before



梱包枠変更

After



環境負荷低減・ドラム総数の削減

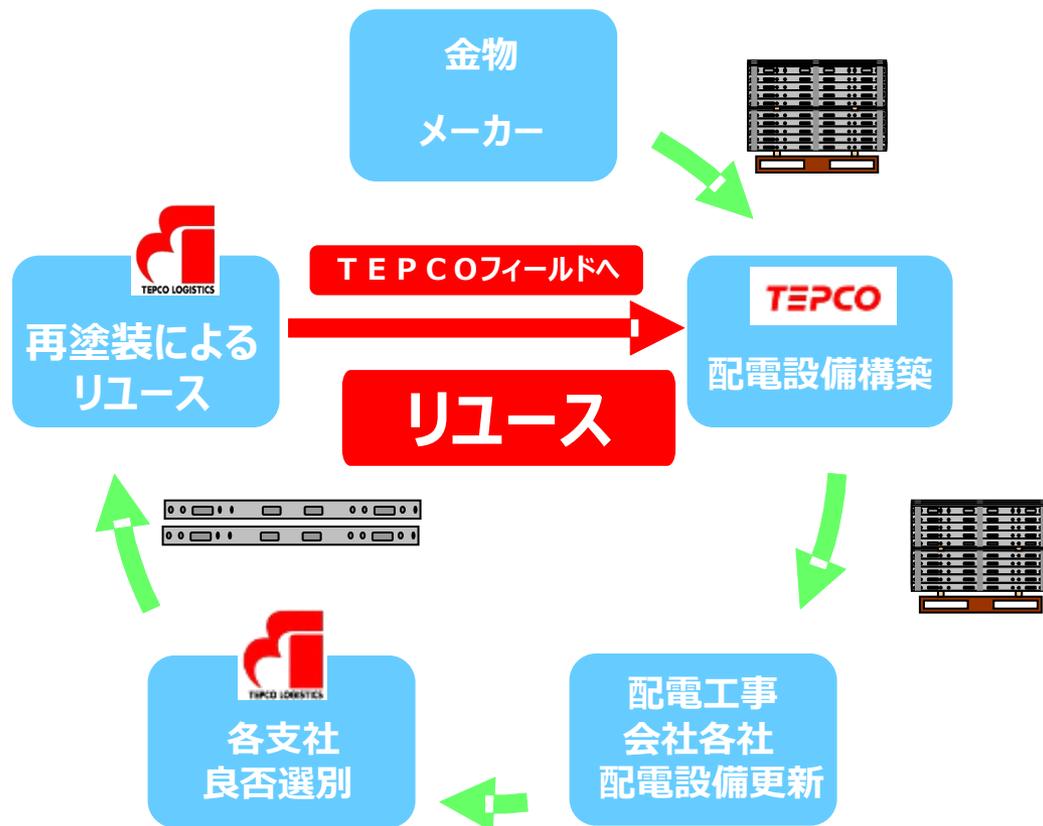
事例⑤リユース業務

Before



リユーススキーム構築

After



再生技術による社会への貢献

事例⑥ 空調服の販売



熱中症予防

作業効率
向上

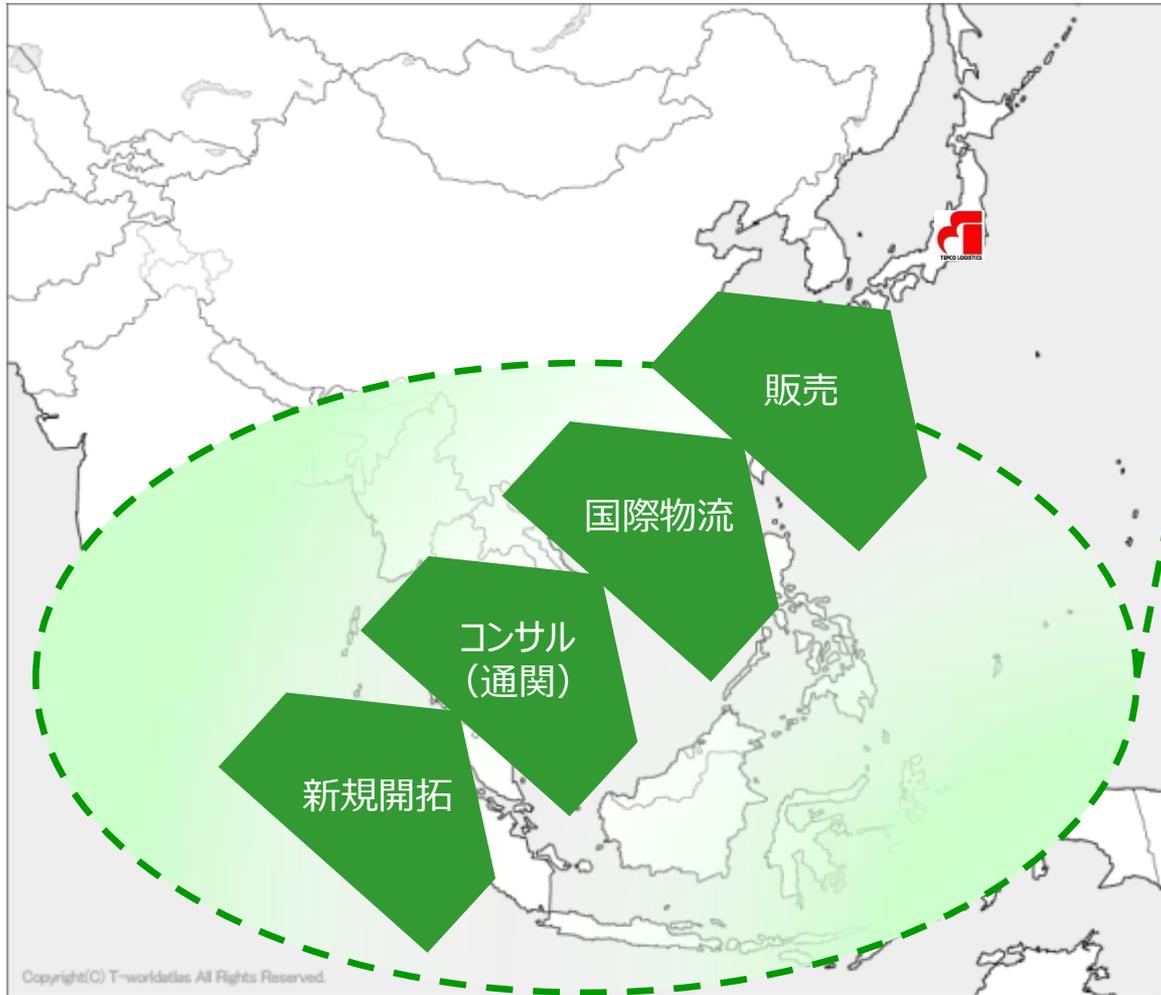


作業環境
改善

※「空調服」服に付いた小型ファンで服の中に外気を取り入れ、体の表面に大量の風を流すことにより、汗を気化させて涼しく快適にすごしていただくための商品です。

東電物流(株)は、空調服販売を通じ
「日本気象協会推進 熱中症ゼロへ」
を応援しています。

事例⑦ 海外メーカー販売代理店



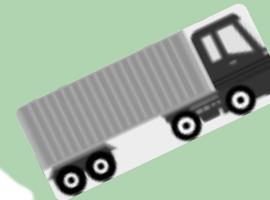
コンサル活動
(仕様の認証支援)
日本の電力会社
要求レベル
(高度な製品レベルと品質管理手法)の獲得



新規
海外メーカー獲得
を足掛かりに他業界へ

事例⑧ 福島ラストワンマイル輸送

福島廃炉事業



1m ile

災害対応力の強化・技術技能の継承

▶ 原子力防災訓練

東電HD(株), 東電PG(株)と協働し, 災害対応用物品の管理と輸送, 資材置場設営等の防災訓練を継続実施。日々, 災害対応力の強化に取り組中。



▶ 低床トレーラーの導入

2017年6月に低床トレーラーを導入し, PCB混入中大型変圧機器輸送が対応可能に。
災害用コンテナや非常用発電機等の運搬も可能。



▶ フォークリフト競技会

各支社からフォークリフト技術の高い作業員を選抜し, 全社大での協議会を実施。新入社員等も参加することにより技術技能の継承を継続。



今後のスケジュール

今後のスケジュール

2019年 ○ 海外事業の拡大

2018年 ○ 3月 安全理念制定

○ 1月 経営理念リニューアル

○ 12月 ウェブサイト全面リニューアル

2017年 ○ 11月11日 フォークリフト競技会開催

○ 10月 東電物流改革プロジェクト始動

○ 8月～12月 社長と社員のダイアログ

最後に…

東電物流(株)は、
「ライフライン・ロジスティクス・カンパニー」
として成長し続けます。

ご清聴ありがとうございました

〈本資料に関するお問い合わせ窓口〉

営業開発本部 事業開発部 末木（すえき）

TEL：03-6361-7940 FAX：03-5769-5030

e-mail：sueki-toru@tepco-logistics.co.jp